

光の舞に魅られて

⑮

榑谿螢の会

榑谿にホタルを

♪ホーホー、ホタルこい♪

こっちの水はあまいぞ〜♪
そんな童謡が聞こえてきそ
うな、ホタルの名所として知
られる榑谿公園（鳥取市上町）
で、25年間にわたりホタルを
守り続けている人たちがいる。

「榑谿螢の会」（藤原正会長）
のみなさんだ。藤原さんたち
は、毎日のようにここを訪れ、
ホタルの生育状況の観察のほ
か、ホタルのえさとなるカワ
ニナ（淡水性の巻き貝）を育



ゲンジボタル

てるなど、ホタルが住みやす
い環境づくりを続けている。

「昔はあちこちで飛び交っ
ていたんですがねえ〜。人が
環境を破壊しているからホタ
ルが少なくなつたのでしょ
う。自然が豊かでない駄目
なんですよ。」と藤原さん。

榑谿公園は、徳川家康ゆ
かりの神社もある神聖な場所
で、自然が多く残されている。
榑谿公園に生息するホタル
を守ろうと当時の会員たちが
活動を始め、ホタルの数は
年々増えていった。そして、
中国地方でも随一のホタルの
名所と言われるようになった。
平成元年には環境庁の「ふ
るさといきものの里百選」に
選ばれている。

「これからホタルやカワニ
ナの出産シーズン。卵からか
えったホタルが、カワニナの
稚貝をたくさん食べて大きく

なつてくれれば。」と藤原さ
んは、今年のホタルの成長に
期待を寄せる。

ホタルの名所…

ホタルの名所として有名に
なることは喜ばしいことであ
るが、一方で問題も出てきて
いる。ホタルの時期になる
と、一目見ようと一晩に二千
人余りもの人が見物に訪れ、
あまりの美しさに、ホタルを
捕まえて持ち帰る人が後を立
たない。藤原さんたちを悩ま
せる。

ホタルを観賞する人たちの
マナーが問われている。

「ホタルの里」

「私は、今まで2回しか見
たことがありませんが、小川
の上流と下流からホタルが1
カ所に集まり、円柱状の渦巻
きを作るんですよ。これを
“ホタル合戦”と呼ぶのです
が、それはまるで、ホタルが
自然豊かな鳥取の地に生を受
けたことに感謝したかのよう
に舞い、壮大な光景で…。忘
れられません」と藤原さんは
その時の様子を思い浮かべ、



カワニナを放流する藤原さん

うれしそうに語った。

藤原さんたちの次の目標
は、公園一帯を「ホタルの里」
にすることだ。ホタルは、そ
の種類や、気温差、標高差な
どによって、発生する時期が
違う。それを利用することに
より、今よりも長い期間ホタ
ルを観賞できるようになり、
榑谿に流れる川の上流から、
延長約1キロメートルにもわ
たる「ホタルの里」が誕生す
るといふ。

今年も、榑谿公園では、藤
原さんたち「榑谿螢の会」が
手塩にかけたホタルの幻想的
な乱舞が始まる。